OLYMPUS®

CAMEDIA

デ ジ タ ル カ メ ラ
C-1400XL

取扱説明書

❑ ご使用前にこの説明書をお読みください。
❑ 大切なもの（海外旅行など）をお撮りになる前には、試し撮りをすることをおすすめします。

このたびは、オリンパス デジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

Windowsは米マイクロソフト社の登録商標です。MacintoshおよびAppleは米アップルコンピューター社の登録商標です。その他全てのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
尚、本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を越えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

本取扱説明書をお読みになる前に

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、オリンパス指定外の第三者による修理その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

オリンパス光学工業株式会社

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害を被るおそれがある内容を示しています。

警告

1. フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光しないでください。目に近づけて撮影すると、視力に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して１m以内の距離で撮影しないでください。
2. 日光および強い光に向けて本製品を使用しないでください。目に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。
3. 可燃性ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
4. この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生のおそれがあります。
   - 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
   - 電池や小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
   - 目の前でフラッシュが発光し、視力に回復不可能な程の障害を起こす。
   - カメラの動作部でけがをする。
5. 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。
   - このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
   - 電池の火の中への投入、加熱、ショート、分解をしないでください。
   - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混ぜて使わないでください。
   - 充電できないアルカリ電池を充電しないでください。
   - 取り外した電池は幼児、子供の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
   - 電池の＋－の極性を逆に入れないでください。

6. 湿気やほこりの多い場所にカメラを保管しないでください。火災や感電の原因となります。
7. フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また連続発光後、発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
8. 万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、速やかに電池を抜き、販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。火災や感電の原因となります。
9. コイン電池の取り扱いについて
   1) コイン電池はお子様の手の届かないところに置いてください。誤って飲み込むと化学物質による被害を受ける危険性があり、大変危険です。万一飲み込んだ場合には、すぐに医師に相談するか、あるいは下記に電話して指示を受けてください。

   財団法人　日本中毒情報センター

   つくば　中毒110番
   TEL 0298-52-9999
   (12/31～1/3を除く、9:00～17:00まで受付)
   大　阪　中毒110番
   TEL 0990-5-02499 (24時間受付、年中無休)

   2) 金属製のピンセットなどでつかまないでください。ショートするおそれがあり危険です。
   3) 分解や加熱をしないでください。破裂する危険があります。

⚠ 注意

1. 異臭、異常音、もしくは煙が出たりするなどの異常が生じた場合は、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、最寄りの販売店もしくはオリンパスサービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。
2. 本製品の分解、改造はしないでください。感電やけがをする原因となります。
3. 長期間使用しない時は電池を取り出しておいてください。電池の発熱や液漏れになり、火災やけが、周囲が汚れる等の原因になります。
4. 電池の液漏れが起こったら使用しないでください。放っておくと、火災や感電の原因となります。販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。
5. 濡れた手で操作しないでください。感電の危険があります。
6. 異常に温度が高くなるところに置かないでください。部品が劣化したり、火災の原因となることがあります。
7. 電池を使って長時間連続使用したあとは、電池をすぐにとり出さないでください。やけどの原因となることがあります。

お取り扱いについて

❖ 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で本製品を使用または保管した場合、動作不良や故障の原因となりますので絶対に避けてください。

・直射日光下や夏の海岸など

・高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所

・砂、ほこり、ちりの多い場所

・火気のある場所

・揮発性物質のある場所

・冷暖房器、加湿器のそば

・水に濡れやすい場所

・振動のある場所

・自動車の中

❖ カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

❖ レンズを直射日光に向けて放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。

❖ 長時間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には作動点検をされることをおすすめします。

❖ 三脚につける場合、デジタルカメラを回して取り付けないでください。

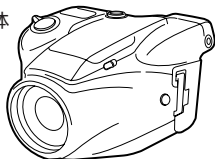
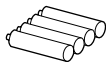
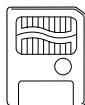
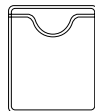
❖ 本体の電気接点部には触れないでください。

❖ フラッシュを短時間に何度も発光させると、発光部の温度が上がることがありますので、直接手を触れないでください。

電池について

- ❖ 電池は1000mAh以上の単3ニッケル水素電池またはニッカド電池4本を使用します。付属のオリンパス製ニッケル水素電池B-02 (1450mAh) をおすすめします。
- ❖ アルカリ電池は使用できますが、電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により内部抵抗・容量に差があるため、付属のB-02電池に比べて寿命が極端に短い場合があります。また、低温時は使えません。
- ❖ 単3マンガン電池、単3リチウム電池は使用できません。
- ❖ 長期の旅行や海外でご使用の場合は、予備の充電済みのニッケル水素電池またはニッカド電池をご用意になることをおすすめします。
- ❖ ニッケル水素電池は繰り返しご使用いただけます。ただし、化学反応によりエネルギーを供給するため、特性は徐々に劣化します。B-01/B-02をC-1400XLでお使いの場合、目安のサイクル回数は約300回です。(使用条件により変動します。)
- ❖ ニッケル水素電池およびニッカド電池をご使用になる際は、必ず指定された充電器で4本全ての電池を同時に、かつ完全に充電してからお使いください。なお、購入したて、或いは1ヶ月以上未使用のニッケル水素電池をご使用の場合、電池の特性により完全に充電できないことがあります。この時は一時的に電池寿命が短くなりますが、充放電を繰り返すうちに回復します。
- ❖ 誤った使い方をすると液もれ・発熱・破損の原因となります。また、汗や油汚れは接触不良の原因となります。汚れは乾いた布でしっかりと拭き取り、挿入の際は、＋－の向きに注意して正しく入れてください。
- ❖ 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。
- ❖ ニッケル水素電池およびニッカド電池をご使用になる際は、電池、充電器等の説明書をよく読んで、正しくお使いください。

中身を確認しましょう

同梱品

別売品

- **パソコン接続キット (C-4KP)**
  - Kai's Photo SOAP for CAMEDIA (Macintosh、Windows 95/98)
  - Macintosh 用 Plug-in/Mac TWAIN ソフトウェア for CAMEDIA、Windows 用 TWAIN ソフトウェア for CAMEDIA
  - ユーティリティソフトウェア (Macintosh、Windows 3.1/95/98/NT 4.0 用)
  - パソコン接続用ケーブル (DOS/V 用)
  - 変換アダプタ (Macintosh、PC-98 用)＊PC-98ノート(14ピン)の場合は別途 変換アダプタ(PC-9821N-K04)が必要です。
- **スマートメディア (2MB/4MB/8MB/16MB)**
- **専用プリンタ (P-300)**
- **AC アダプタ (C-6AC)**
- **カメラケース (CS-1400)**
- **ステップアップリング**
  - 46mmフィルター取付用
  - 55mmフィルター取付用
- **コンバージョンレンズ**
  - ワイドコンバージョンレンズ (**WCON-08**)
  - マクロコンバージョンレンズ (**MCON-40**)
  - テレコンバージョンレンズ (**TCON-14**)
- **ニッケル水素電池4本セット (B-02 4P)**
- **PCカードアダプタ (MA-1)**＊8MB スマートメディアまで対応
  PCカードアダプタ (MA-2)＊16MB スマートメディアまで対応
- **フロッピーディスクアダプタFlashPath (MAFP-IN)**＊16MBスマートメディアまで対応
  (Windows 3.1/95、OSR2以降のPC9821、Mac)

主な特長

■ 141万画素SXGA画像が得られます。

■ 枚数を気にせず撮影できる、リムーバブルメモリのスマートメディア(3.3V)を採用。別売のPCカードアダプタやフロッピーディスクアダプタFlashPathを使えば、簡単に画像をパソコンに取り込むことができます。

■ 3倍ズームレンズ、TTLファインダーを搭載。通常のフィルム式1眼レフカメラに近い使い勝手が得られます。

■ 連写機能では、最高毎秒3.3コマ、最大5コマの連続撮影が可能です。

■ 外部フラッシュ接続可能。高度なフラッシュ撮影も自在です。

■ 豊富なオプション(別売)品が活用できます。
- 別売のP-300専用プリンタを使えば、パソコンなしでも画像をダイレクトプリントできます。16分割シールプリントや、Tシャツプリントなどに使う転写プリント、30コマのインデックスプリントも簡単です。
- 別売のパソコン接続キットでパソコンと接続、キットに付属のユーティリティソフトを使ってデータの保存なども簡単に行えます。
- 別売の通信アダプタ(T-100HS)にモデムカードを組み合せて、携帯電話から画像を伝送できます。

➧ 説明文中の ⚠ 注意は、特に気を付けてお読みください。
➧ ☞はその他の留意事項を示しています。
➧ 本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

目　次

細かな設定をしましょう

印刷してみましょう

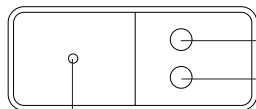
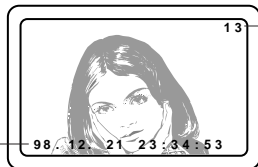
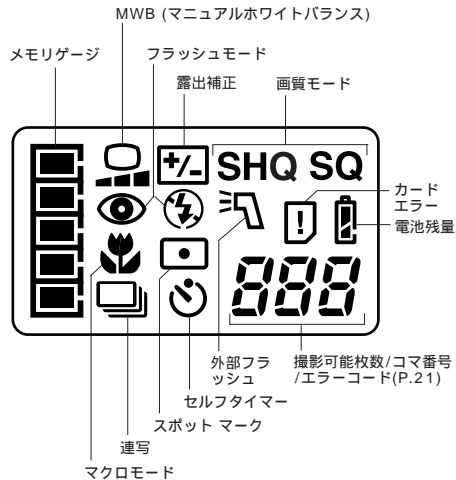
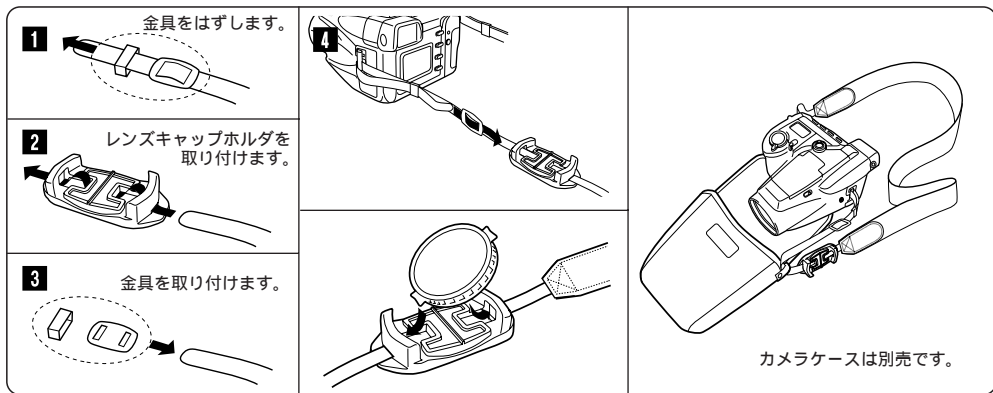
画像をとりこみましょう

その他

準備をしましょう

各部の名称

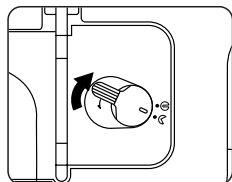
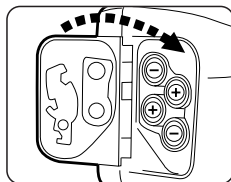
＊ どのボタンを押してもカメラが作動しない場合は、カードカバー内のリセットボタンをボールペンなどの先で押してから、パワーボタンを押してください。(P.18)

ファインダー部

液晶モニタ部

コントロールパネル部

ストラップ・レンズキャップホルダの使い方

⚠ 注意

◆上記にしたがって正しい取り付けを行ってください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れて本体を落とした場合、損害等一切の責任は当社では負いかねますのでご了承ください。

電池を入れます

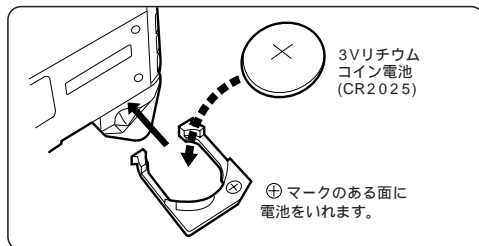
付属の単3ニッケル水素電池をご使用ください。マンガン電池、リチウム電池は使用できません。

❍ 電池に関するご注意をお読みください。（P.6参照）

1 電池カバーの開閉スイッチを ♁ に合わせ、カバーを開けます。

2 図のように電池の向きを正しく合わせて入れ、電池カバーを閉めます。

☞

◆ 電池カバーを開ける時は電源がオフになっていること(コントロールパネル消灯)を確認してください。カメラの動作中に電池カバーを開けると、設定モードや時計がリセットされたり撮影画像が記録されないだけでなく、記録済の内容が破壊される恐れがあります。(P. 18)

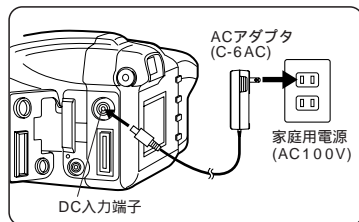
リチウムコイン電池を入れます

ペンの先等、先のとがったもので丸穴に引っかけてリチウム電池収納カバーを引き出し、リチウムコイン電池を＋側を上にして入れ、カチッと音が鳴るまでカバーを閉じます。

❍ 電池寿命は約3000時間です。

☞

◆ リチウムコイン電池を入れないと主電池交換の際に時計がリセットされてしまいますので、リチウムコイン電池は必ず入れるようにしてください。

専用ACアダプタの使い方

別売の専用ACアダプタ(C-6AC)で、家庭用電源(AC100V)から電源を取ることができます。

※ C-5ACもご使用いただけます。
C-6ACの方が小型になっています。

☞

◆ACアダプタを長時間接続するとACアダプタ本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。

⚠ 警告

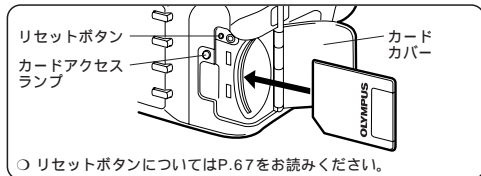
火災・感電・やけどのおそれがあります。

◆電源は必ずAC100Vをご使用ください。
◆ACアダプタのプラグの差し込みが不完全な状態では使用しないでください。
◆濡れた手でのACアダプタのプラグの抜き差しは絶対にしないでください。
◆万一ACアダプタやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が発生した場合、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。また、直ちに販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
◆専用のACアダプタ(EIAJ規格・極性統一型プラグ付)以外は絶対に使わないでください。カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた障害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。
◆ACアダプタを抜き差しする際は、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。データ書き込み中および転送中に電源を抜くと、データが破壊／消失しますので絶対に避けてください。
◆最初にACアダプタをコンセントに差し込み、次にカメラに接続し、電源を入れてください。電源を切った後はACアダプタをカメラから抜き、次にコンセントから抜いてください。
◆ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタの本体を持って抜いてください。ACアダプタのコードを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったり、継ぎ足したりすることは絶対にやめてください。
◆ACアダプタのコードに傷、断線、またはプラグに接触不良があったりした場合は、すぐにお買い上げの販売店にご相談ください。
◆使用しないときは、必ずACアダプタをコンセントから外してください。

撮影しましょう

スマートメディアを差し込み、電源を入れます

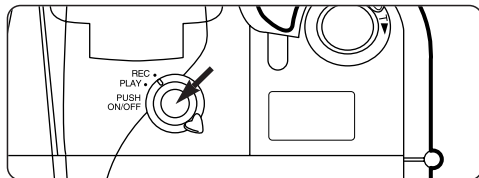
スマートメディアを入れます

❍ **リセットボタンについてはP.67をお読みください。**

スマートメディア(以下カードと言います)を図示の方向に**奥まで差し込み**、確実にカバーを閉じてください。

❍ 市販の5Vカードは使用できません。当社カードまたは市販の3.3Vカードをご使用ください。

⚠ 注意

- ◆ **カードアクセスランプ点滅中には、絶対にカードカバーを開けたり、電池やカードを取り出したり、電源プラグを抜いたりしないでください。カード内のデータが破壊されることがあります。**
- ◆ **カードは精密機器です。無理な力や衝撃を与えないでください。**
- ◆ **カードの接触面には直接手をふれないでください。**

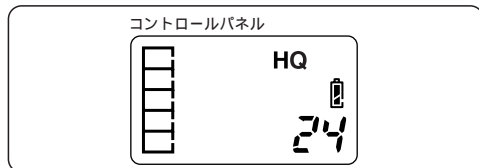
RECモードにして電源を入れます。

REC/PLAY切替スイッチをRECモードにセットしてから、パワーボタンで電源を入れます。電源が入ると、カメラが自動的にカードチェックを行います。

☞

- ◆ **RECモードとPLAYモードでは、電池残量表示は異なります。**
- ◆ **カードに問題がある場合は緑ランプとコントロールパネルのカードエラーマーク及びエラーコードが点滅します。この場合撮影はできません。（カードエラーについてはP.21を、カードの初期化についてはP.48をお読みください。）**
- ◆ **オリンパスのカードには様々なファンクション機能がありますが、当機種ではその機能はご利用いただけません。**

電池残量をチェックします

RECモードがONになると、コントロールパネルに電池残量、撮影可能枚数などが表示されます。

☞

- ◆ **RECモードでは、なにも操作をしないまま1分経過するとスタンバイ状態に切り替わり、電池の消耗を抑えます。この時誤って操作ボタンを押すと再び電源ONになり、電池を消費しますので、不使用時にはパワースイッチを押して電源をOFFにすることをおすすめします。**
- ◆ **スタンバイ状態の時はズームスイッチを操作したり、シャッターボタンを半押しすれば、少したってから通常の状態に復帰します。**
- ◆ **スタンバイ状態が60分続くと、自動的に電源が切れます。パワーボタンを押すと再び電源が入ります。**
- ◆ **電池節約モードでは、撮影時の電池の寿命を延ばすことが出来ます。(P.50)**

電池残量の目安は次のように表示されます。

電池残量表示の状態	意味
が点灯。(自動的に消えます。)	電池の残量は十分です。撮影できます。
が点滅し、コントロールパネルの他の表示は通常通り点灯。	電池の残量が少なくなりました。新しい電池と交換してください。
が点灯(約12秒後に消えます)。	電池の残量がなくなりました。新しい電池と交換してください。

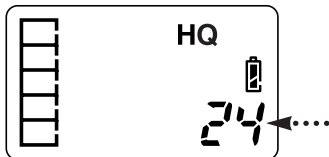
❍ 電池の種類や状態、カメラの動作条件によって、電池残量マークの出る枚数は変わります。(P.64参照)

☞

- ◆ **撮影前に日時を設定しておきましょう。設定についてはP.51をお読みください。**
- ◆ **長期の旅行、大切な行事、寒冷地での撮影などには予備の充電済み電池をご用意になる事をおすすめします。**

撮影可能枚数をチェックします

RECモードがONになると、コントロールパネルに撮影可能枚数が表示されます。

❍ 撮影可能枚数が0になると、緑ランプとコントロールパネルのカードエラーマーク及びエラーコードが点滅します。この場合撮影はできません。(P.21参照)
❍ 撮影可能枚数は設定した画質モードによって変わります。画質モードの設定はP.46をお読みください。
❍ 撮影対象によりデータ量が異なる為、撮影可能枚数よりも多く撮影できることがあります。

撮影可能枚数

画質モード	(同梱8MBカード使用時)
SHQ	8枚以上
HQ	24枚以上
SQ	99枚以上

☞

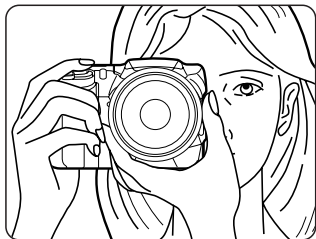
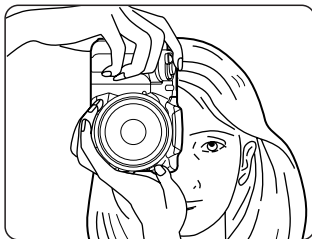
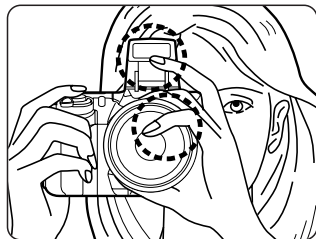
◆撮影毎にカウンタが減らなかったり、1コマ消去しても増えない場合があります。

エラーコード表

本製品では各種の警告をエラーコードにて表示します。（コントロールパネルの表示は点滅します。）

コントロールパネル	液晶表示(PLAYモードのみ)	エラー内容	対　応
! -E-	CARD ERROR	撮影・再生・消去を受け付けません	クリーニングペーパーで端子をふいても、カードをもう一度挿入し直しても直らない場合及び初期化ができない場合、このカードは使用不可能です。
! ---	NO CARD	カードが入っていません。	カードを入れてください。
! -5-	5V CARD	5Vカードが入っています。	3.3Vカードをお使いください。
! -F-	UNFORMATTED CARD	カードのフォーマットが必要です。	カードのフォーマットをしてください。(P.48)
! -P-	WRITE-PROTECT	カードにライトプロテクトシールが貼ってあるか、または再生専用のカードの為、撮影・消去・初期化を受け付けません。	画像を確認し、プロテクトシールの要・不要を確認してください。
! 000	NO PICTURE	記録画像がない為、再生できません。	撮影画像の入ったカードを入れてください。
! 0	(表示なし)	撮影可能枚数が0の為、撮影できません。	カードを交換するか、不用なコマの消去を行うか、画像をパソコンなどに転送し全コマ消去してください。
	BAD PICTURE	選択したコマの再生動作の失敗です。他の操作は受け付けます。	選択したコマを消去し、撮影しなおしてください。
-H-	(表示なし)	カメラ内部が異常に過熱しています。	時間をおいてから電源を入れなおしてください。

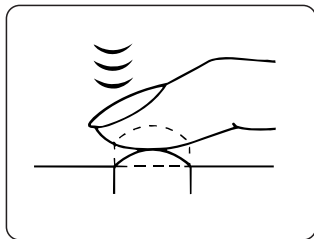
カメラに慣れましょう

カメラの構え方

よこ位置

たて位置

悪い例

❍ 両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。

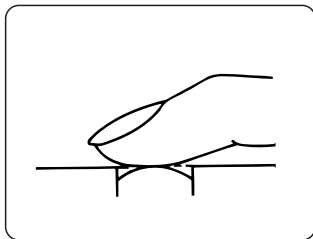
☞

◆レンズ、フラッシュに指やストラップがかからないようにご注意ください。

シャッターボタンの押し方

1 軽く押すと・・・（半押し）

❍ この時ピントが固定されます。

❍ この時露出も固定されます。

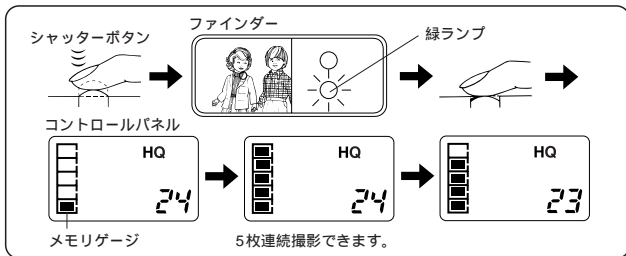
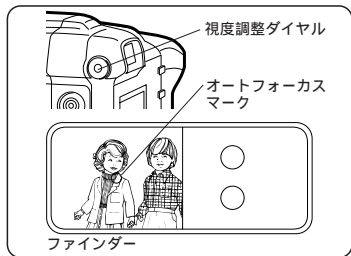
❍ ファインダー横の緑ランプが点灯します。

2 さらに押し込むと・・・（押し切り）

❍ ファインダー横の緑ランプが点滅し、液晶モニタにいま撮影した画像が表示されます。

☞

◆シャッターボタンは静かに押してください。シャッターボタンを押すときにカメラが動くと写真がぶれる原因となります。

◆シャッターボタンを半押しした時にファインダー横の緑ランプが点滅した場合は、ピント及び露出が固定されていません。いったん指をはなし、再度シャッターボタンを押してください。

写します

1 視度調整ダイヤルを左手の親指の腹でまわし、オートフォーカスマークが鮮明に見える位置に合わせます。

2 ファインダーをのぞき構図をきめます。

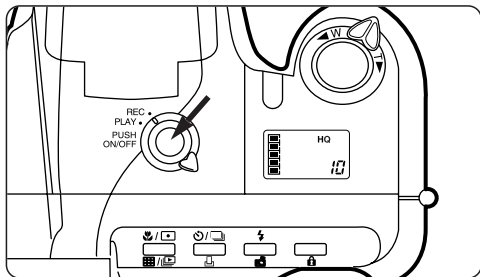
3 シャッターボタンを半押しし、ピントが固定されると、ファインダー横の緑ランプが点灯します。

4 そのままシャッターボタンを押し切ると緑ランプが消灯し、コントロールパネルのメモリゲージが1つ点灯します。

5 カードへの記録が始まります。カードアクセスランプが点滅し、液晶モニタに撮影画像が約5秒間表示されます。

❍ カードに残量がある限り、記録中でもメモリゲージに空きがあれば続けて撮影できます。

⚠ 注意

◆ カードアクセスランプ(P.18)の点滅中には、絶対にカードカバーを開けたり、電池やカードを抜いたり、電源プラグを抜いたりしないでください。設定モードや時計がリセットされたり撮影画像が記録されないだけでなく、撮影済みの内容が破壊される恐れがあります。

6 メモリゲージが5つ全て点灯すると、緑ランプが点滅して操作を一切受け付けなくなります。1コマ記録される毎にメモリゲージが1つ消灯し、緑ランプが消灯して再び撮影が可能になります。

❍ 液晶モニタには現在記録中の画像が表示されます。

7 撮影後はパワーボタンを押すとコントロールパネルの表示が消え、電源は切れます。

❍ 電源を切ったり、電池の交換を行っても、撮影した画像は保存されます。ただしアクセスランプ点滅中にはカードカバーを開けたり、電池を抜いたり、専用ACアダプタを抜かないでください。

◆撮影中に電池残量がなくなった場合は、シャッターボタンを押した直後、または記録中に電源がオフになることがあります。コントロールパネルに空の電池マークが点灯したり、空の電池マークとコマ番号が点滅する場合は、撮影が正常に行われていません。新しい電池に交換のうえ再度撮影を行ってください。

◆液晶モニタをファインダー代わりに使った撮影はできません。

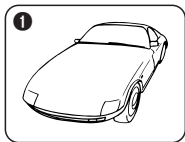
◆カードアクセスランプ点滅中は、パワーボタン及びメニューボタンの操作は受け付けません。REC/PLAY切替スイッチを押した場合は、点滅が消灯に変わってからPLAYモードに切り替わります。

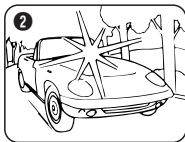
◆カードの残量を越えて撮影しようとした場合は、メモリゲージ及び撮影可能枚数表示が点滅して撮影を受け付けません。

◆撮影される画像はファインダー内の構図よりやや広い範囲が撮影されます。

オートフォーカスの苦手な被写体

オートフォーカスが苦手な被写体

ほとんどの被写体に対してオートフォーカスが可能ですが、以下❶〜❸のような条件ではピントが合わず、緑ランプが点滅して、シャッターが切れない時があります。また、❹、❺のような被写体では、ファインダー内の緑ランプが点灯し、シャッターが切れてもピントが合っていない時があります。その場合は**ワンタッチフォーカスで撮影するか**、以下の方法で撮影してください。

コントラストのない被写体

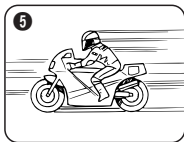
❍ 被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

画面中央に極端に明るいものがある被写体

❍ 被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

暗い被写体

❍ 被写体と同距離にある、コントラストのはっきりした明るいものでピントを合わせてから撮影してください。

遠いものと近いものが共存する被写体

❍ オートフォーカスして緑ランプが点灯しても撮影したい被写体がぼけているときは、同じ距離にあるものでフォーカスロックしてから構図を決めて撮影してください。

動きの速い被写体

❍ あらかじめ撮影したい被写体と同じ距離にあるものでフォーカスロックしてから、構図を決めて撮影してください。

フォーカスロック

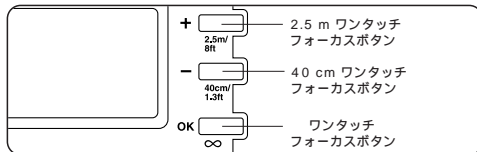
ピントを合わせたいものがオートフォーカスマークから外れる(中央にない)場合は、以下の操作(フォーカスロック)をします。

1 ファインダーをのぞき、写したいものにオートフォーカスマークを合わせ、シャッターボタンを軽く押してピントを合わせます。

❍ この時に露出も固定（AEロック）され、ファインダー横の緑ランプが点灯します。

2 シャッターボタンを軽く押したまま写したい構図に変えて押し切ります。

ワンタッチフォーカス

素早く被写体にピントをあわせ、ピンボケの写真を防ぐことが出来ます。

被写体との距離に応じて無限大(∞)、2.5m、40cmの撮影距離がワンタッチで選択できます。急いでシャッターを押す時などに便利です。

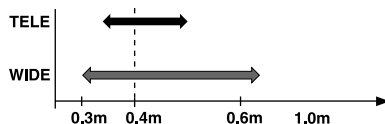
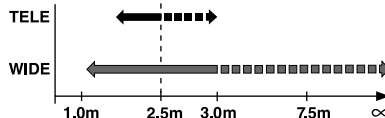
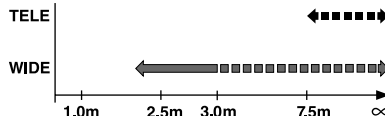
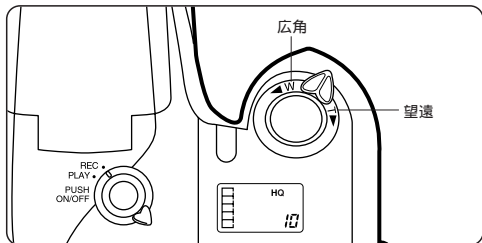
1 被写体距離を確認し、∞、2.5mまたは40cmのワンタッチフォーカスボタンを押しながらシャッターボタンを半押しすると、選択した距離にピントが固定されます。

❍ この時に露出も固定(AEロック)され、緑ランプが点灯します。

❍ シャッターボタンを半押しする前にワンタッチフォーカスボタンを放すと、ワンタッチフォーカスにはなりません。

2 シャッターボタンを押し切ります。

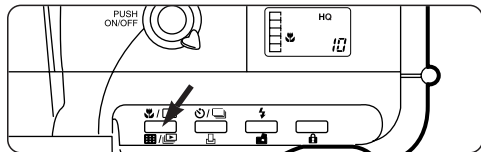
❍ フラッシュ使用時は、フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。

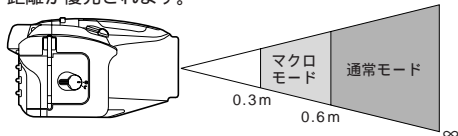
ワンタッチフォーカス合焦範囲の目安

ズーム

3倍ズームで望遠・広角撮影

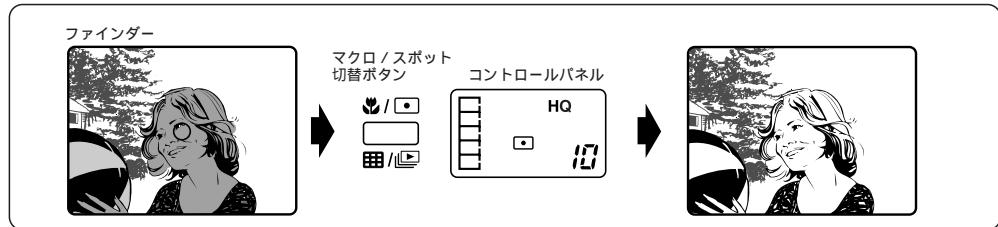
RECモードでズームレバーを **T** に切り替えると望遠(遠くのものを大きく写す)になります。

ズームレバーを **W** に切り替えると広角(より広い範囲を写す)になります。

マクロモード

近くにあるものを撮影するときはマクロモードを使います。

9x11cmをフレームいっぱいに撮ることができます。マクロ／スポット切替ボタンを押してマクロモードにすると、コントロールパネルにマクロモードが表示されます。

❍ 0.3mより近い距離でもシャッターが切れることがあります。但し、撮影後液晶モニタでピントを確認してください。
❍ ワンタッチフォーカスでの撮影時には、選択した撮影距離が優先されます。

スポット測光モード

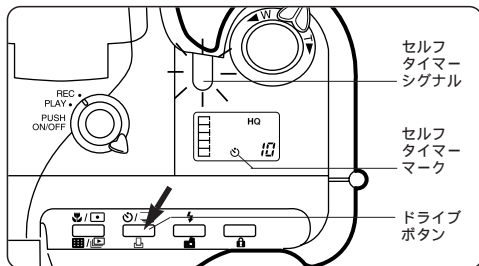
逆光等のため被写体が暗くなる時、バックの光に影響されることなく、写したいものを適正露光で撮影したい時に使います。

オートフォーカスマークの中心に被写体がくるように撮影してください。

1 マクロ／スポット切替ボタンを押してスポット測光モードにします。
❍ コントロールパネルにスポットマークが表示されます。
2 写したいものにオートフォーカスマークを合わせ、シャッターボタンを軽く押してピントを合わせます。
❍ フォーカスロックされるとファインダー横の緑ランプが点灯します。
❍ この時に、露出も固定（AEロック）されます。
3 シャッターボタンを軽く押したまま写したい構図に変えて押し切ります。

マクロ＋ スポット測光モード

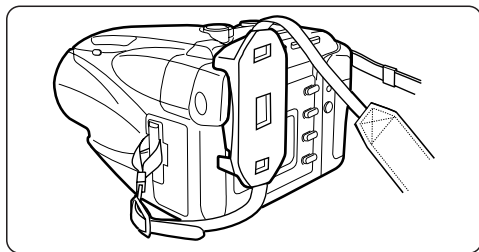
マクロ/スポット切替ボタンをもう1度押すと、マクロ撮影でスポット測光が可能です。被写体がマクロ撮影範囲内(0.3 ～ 0.6m)にある時、背景が明るい場合も適正露光で撮影できます。
❍ コントロールパネルにマクロモードとスポットマークが表示されます。

⏲セルフタイマー

全員で写真に写りたいとき等に使います。

1 ドライブボタンを押してセルフタイマーモードにすると、コントロールパネルにセルフタイマーマークが表示されます。

2 カメラを固定し、構図を決め、シャッターボタンを押すとセルフタイマーシグナルが点灯し、10秒後には点滅に変わり、さらに2秒後にシャッターが切れます。

❍ ピントと露出はシャッターボタンを半押しした時に固定されます。

❍ 撮影後はセルフタイマーモードは解除されます。

❍ 逆入射光の影響を防止するために、レンズキャップホルダをファインダーにかぶせてから撮影してください。

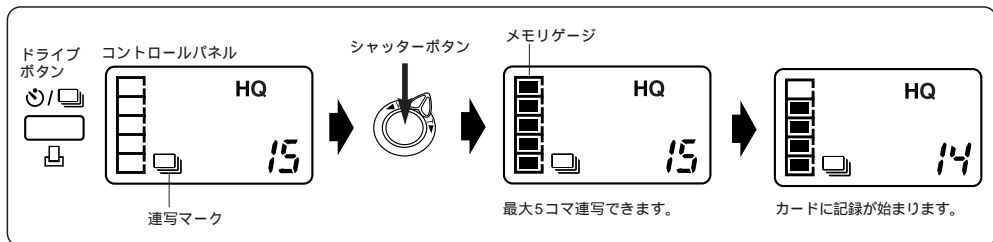
❍ セルフタイマーモードにセット後、途中でモードを解除するには、ドライブボタンを2度押します。

❍ シャッターを切ってセルフタイマーがスタートしてからタイマーを解除するには、ドライブボタンを1度押します。
この時、セルフタイマーモードは解除されません。

☞

◆ **カメラを三脚などにしっかりと固定してください。**

連写モード

連続撮影をしたい時に使います。

連写モードでは、最高1秒に3.3コマの速度で最大5コマの連続撮影ができます。

1 ドライブボタンを押して連写モードにすると、コントロールパネルに連写マークが表示されます。

2 撮影します。カードに残量がある限り、シャッターボタンを押し続けている間5コマまで連写します。この間のピント、露出、ズームは1枚目で固定されます。

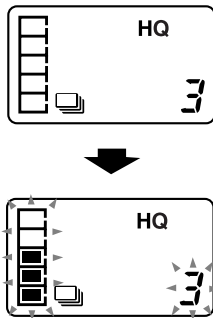
❍ 1コマ撮影する毎にコントロールパネルのメモリゲージが1つ点灯します。

3 5コマ以前でシャッターボタンを放すと連写が終了し、カードへの記録が始まりますが、再びシャッターボタンを押すとメモリゲージの空き分撮影できます。

4 メモリゲージが5つ全て点灯すると、緑ランプが点滅して操作を一切受け付けなくなり、カードへの記録が始まります。1コマ記録される毎にメモリゲージが1つ消灯し(□となります)、緑ランプが消灯して再び撮影が可能になります。

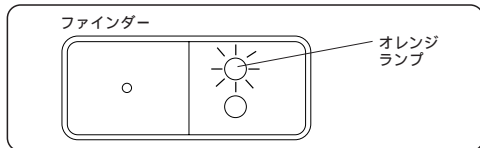
5 連写モードを解除するには、ドライブボタンを1度押します。

カードの残量を越えて撮影しようとした場合は、メモリゲージ及び撮影可能枚数表示が点滅して撮影を受け付けません。

☞

- ◆ セルフタイマーとの併用はできません。
- ◆ 内蔵フラッシュ使用時は、シャッターボタンを押したままフラッシュの充電を待ちます。ファインダー横のオレンジランプが消灯するまでシャッターは切れません。また、赤目軽減発光は選択できません。
- ◆ 外部フラッシュ使用時は、連写速度に追従できる設定をおすすめします。
- ◆ カードアクセスランプ点滅中は、パワーボタン及びメニューボタンの操作は受け付けません。REC/PLAY切替スイッチを押した場合は、点滅が消灯に変わってからPLAYモードに切り替わります。
- ◆ カードの残量を越えて撮影しようとした場合は、メモリゲージ及び撮影可能枚数表示が点滅して撮影を受け付けません。
- ◆ 5コマのカード記録に約50秒かかります。

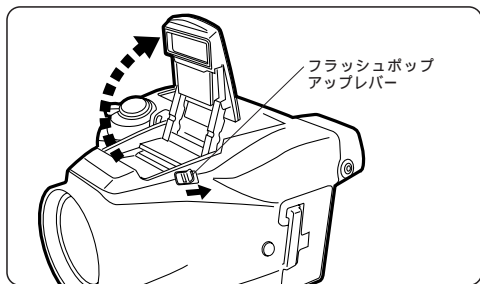
フラッシュ撮影

フラッシュの準備

フラッシュの必要な時にはファインダー横のオレンジランプが点滅します。

フラッシュ撮影可能範囲

WIDE	TELE
0.3 m 〜 3.6 m	0.3 m 〜 2.5 m

☞

◆**オレンジランプが点滅している時はフラッシュ充電中です。充電中にシャッターを押し切っても、オレンジランプが点滅し、撮影はできません。一旦シャッターボタンを放し、オレンジランプが消灯にかわってから再度押してください。**

1 内部フラッシュを使うときは、まずフラッシュポップアップレバーを押して、フラッシュを上げてください。

2 オレンジランプの消えた状態でシャッターを半押しすると、オレンジランプが消灯から点灯にかわります。ここでシャッターを押し切るとフラッシュが発光します。

モードの切替

このカメラには6つのフラッシュモードがあります。撮影状況・目的に合わせてお使い分けください。
フラッシュモード切替ボタンを押すごとに、下の順に切り替わります。

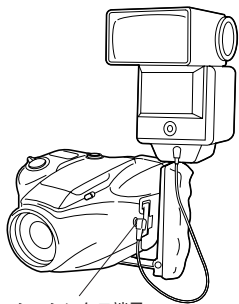
❍ フラッシュモードはコントロールパネルに表示されます。

フラッシュポップアップ時

モード	機能・目的
オート発光	暗い時や逆光の時、自動的に発光します。(P.37)
赤目軽減発光	目が赤く写ってしまう現象を軽減します。(P.37)
強制発光	必ず発光させたい時に。(P.38)
強制発光 ＋外部発光	内部フラッシュと外部フラッシュを両方発光させたい時に。(P.38)

フラッシュポップダウン時

モード	機能・目的
発光禁止	発光させたくない時に。(P.39)
外部発光	外部フラッシュのみを発光させたい時に。(P.39)

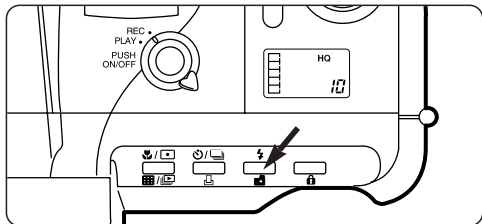
外部フラッシュ接続のしかた

1 外部フラッシュをグリップに取り付け、三脚穴に固定させてから、シンクロコードをカメラの外部フラッシュシンクロ端子に接続します。
取り付けられない外部フラッシュはご使用になれませんのでご注意ください。

2 カメラの電源を入れ、次に外部フラッシュの電源を入れます。外部フラッシュは、ISO100/F=2.8(マクロモード時はF=5.6)にセットしてください。

☞

- ◆ **外部フラッシュの状態により、誤発光することがあります。**
- ◆ **外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で調節されます。撮影後露出を液晶モニタで確認して、おかしい場合はマニュアル発光で撮影しなおしてください。**
- ◆ **P.46の露出補正は、外部フラッシュには適用されません。**
- ◆ **クリップオンタイプのフラッシュは接続できません。三脚穴に固定する、グリップ付きフラッシュをご使用ください。この時、強く押しこまないでください。**
- ◆ **近距離撮影時は、白飛び防止のため内部フラッシュのみのご使用をおすすめします。**

オート発光

暗い時や逆光の時、フラッシュが自動的に発光します。

オートフォーカスマーク

逆光の被写体を撮影するときは、被写体をオートフォーカスマークに合わせて撮影してください。

赤目軽減発光

目が赤く写る現象を軽減します。

本発光の前に10数回予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。予備発光をする以外はオート発光と同じです。

- **◆シャッターが切れるまで約1秒かかりますので、カメラをしっかり構えてください。**
- **◆以下の場合は、赤目軽減の効果が現れにくくなります。**
  - **●フラッシュを正面から見ていない場合**
  - **●予備発光を見ていない場合**
  - **●被写体までの距離が遠い場合**
  - **●個人差による場合**
- **◆連写モードではご使用になれません。**

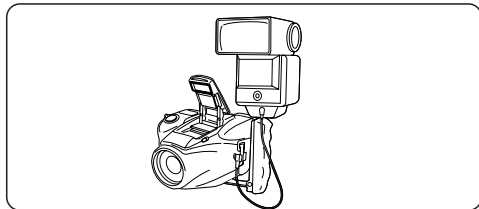
⚡ 強制発光

必ず発光させたい時に。

強制発光モードはフラッシュを強制的に発光させるモードです。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときなどに使います。

◆フラッシュ撮影可能範囲（P.34）内で撮影してください。かなり明るい状況下では効果があらわれにくくなります。

⚡ 強制発光＋外部発光

内部フラッシュと外部フラッシュを両方発光させたい時に。

外部フラッシュをバウンスさせ内部フラッシュでキャッチライト効果を得る等、高度なフラッシュ撮影が可能になります。

◆強制発光＋外部発光モードで外部フラッシュの電源が入っていなかったり接続されていないと、露出はアンダーになります。
◆強制発光＋外部発光モードでフラッシュを下げると「外部発光」モードになります。

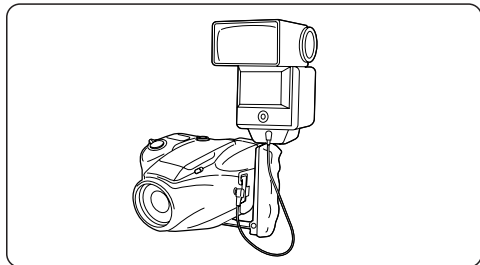
発光禁止

暗いところでも発光させたくない時に。

フラッシュを使えない美術館や夕景、夜景などで撮影するときに使います。

◆シャッタースピードが最長1/4秒まで延長されますので、カメラぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。動く被写体はぶれて写ります。

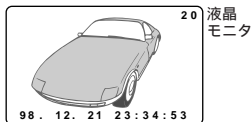
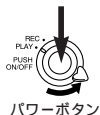
外部発光

外部フラッシュのみを発光させたい時に。

内部フラッシュの届かない遠くの被写体も照らすことができます。

◆自動露出は外部フラッシュには適用されません。外部フラッシュで露出を設定してください。

液晶モニタで再生してみましょう

液晶モニタの電源を入れます

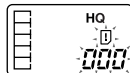
撮影した内容をすぐに見ることができます。

パワーボタン

液晶モニタ

撮影画像がない場合

コントロールパネル

HQ

000

液晶モニタ

PLAYモードにして電源を入れます。

1 REC/PLAY切替スイッチをPLAYモードにセットしてから、パワーボタンで電源を入れます。

2 PLAYモードがONになると、液晶モニタに撮影された最新の画像と日時、コマ番号が表示されます。1枚も撮影されていない場合はコントロールパネルのカードエラーマーク及びエラーコードが点滅し、液晶モニタには赤で「**NO PICTURE**」の表示が出ます。（カードエラーについてはP.21をお読みください。）

☞

- ◆ **PLAYモードでは、なにも操作をしないまま10分経過すると、パワーセーブ機構が働き、電源は自動的に切れます。**
- ◆ **パワーボタンを押すと再び電源が入ります。**

❍ 日付は、日時設定で「**PRINT**」(P.51)をONにしてある場合はそのまま表示し続けますが、OFFにしてある場合は5秒たつと消灯します。

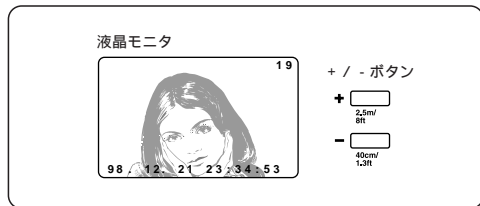
❍ 液晶モニタの明るさ調節についてはP.52をお読みください。

❍ 電源が入った状態でREC/PLAYモードの切り替えが可能です。

⚠ 注意

- ◆ **液晶画面は強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく写らなくなったり、割れたりする恐れがありますので絶対におやめください。**

1コマ再生

撮った画像を再生します。

1 モニタ画面を表示させます。

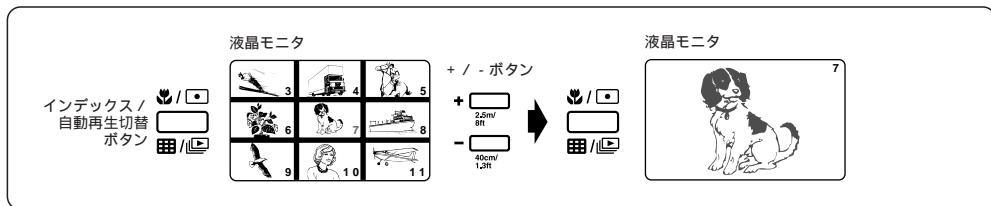
2 ーボタンを押すと、ひとつ前の画面を見ることができます。ーボタンを押すたびに逆送りをすることができます。

3 ＋ボタンを押すと次の画面を見ることができます。＋ボタンを押すたびに、順送りをすることができます。

画像データに異常があった場合、またはデータの読みとりエラーがあった場合

液晶モニタに赤で「**BAD PICTURE**」の表示がでて、そのコマの再生はできません。

インデックスディスプレイモード

9つまでの画像を画面上で1度に見ることができます。

1 モニタ画面を表示させます。

2 インデックス／自動再生切替ボタン(P.1 2)を押してインデックスディスプレイモードにすると、表示中の画像を中心に前後4枚ずつ計9枚の画像が画面上に表示されます。

❍ 最終コマ以降は黒画面で表示されます。

3 ーボタンを押すごとに画像選択のマーク(赤色のコマNo.)がコマ番号の少ないほうに順次移動します。

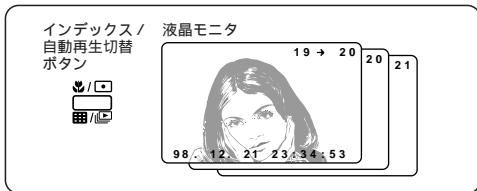
❍ ＋ボタンは反対に進みます。

4 画像選択マークが画面左上に到達後、さらにーボタンを押すと前の6つの画像が加わって表示されます。(＋にコマを送っている場合は画面右下に到達後さらに＋ボタンを押すと、それ以降の画像が表示されます。)

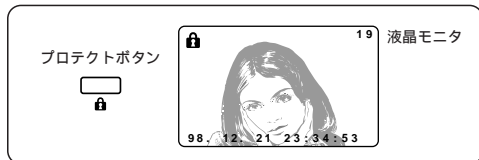
5 インデックス／自動再生切替ボタンを2度押すと選択されている画像が1コマ表示されます。

❍ インデックスディスプレイモードで各ボタンを押すと、印刷、プロテクト、マーク内の画像の1コマ消去が可能です。

自動再生モード

撮った画像を自動的に順送りして見ることができます。

1 モニタ画面を表示させます。
2 インデックス／自動再生切替ボタンを押して自動再生モードにすると、自動的(約5秒ごと)に順送りが始まります。
3 もう一度押すと表示されている画面で停止します。
❍ 自動再生は一巡しても止まりません。ボタンを押して終了させてください。

プロテクト

残しておきたい画像にプロテクト(消去禁止)をかけます。

1 モニタに残しておきたい画像を表示させます。
2 プロテクトボタンを押し、その画像にプロテクト（消去禁止）をかけます。
❍ プロテクトマークが画面左上に表示されます。
3 プロテクトを解除するには、再度プロテクトボタンを押します。
❍ プロテクトされた画像は全コマ消去しても消されることはありませんが、初期化すると消滅します。
❍ インデックスディスプレイモード（P.42）でもプロテクトの設定、解除ができます。

◆ ライトプロテクトシールの貼ってあるカードにはプロテクト操作は一切できません。

画像の1コマ消去

消したい画像を消去します。

1 消したい画面を表示させます。インデックスディスプレイモードの場合は、消したい画面に画像選択のマーク(赤色のコマNo.) を合わせてください。

2 1コマ消去ボタンを押すと、消去していいかどうか確認のメッセージが出ます。

3 OKボタンを押します。

❍ ブルーバック(青画面)上に「**ERASING**」と表示されて画面が消去された後、その前のコマが表示されます。

⚠ 注意

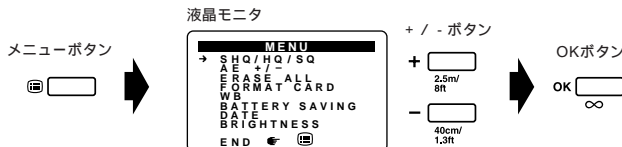
◆ 消去中にカードカバーを開けたりACアダプタ／電池やカードを抜くと、カード内のデータが破壊される恐れがありますので十分ご注意ください。

❍ 全コマ消去についてはP.47をお読みください。

◆ カードにライトプロテクトシールが貼られている場合や、プロテクトをかけた画像の場合は画面に「WRITE-PROTECT」と表示され、消去を受け付けません。(P.21参照)

◆ カードの状態により、消去に時間がかかることがあります。

細かな設定をしましょう

メニューの基本操作

電源を入れてメニューボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。

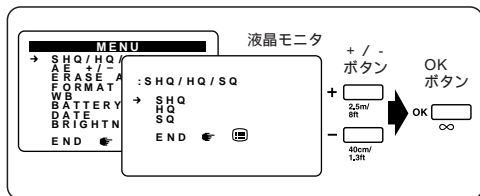
❍ REC/PLAYどちらのモードでもメニューは表示されますが、「**BRIGHTNESS**」(P.52)はPLAYモードからのみ設定可能です。

> ◆ **なにも操作をしないまま約12秒たつと、メニューが終了します。**
> ◆ **電源を切っても各項目の設定はそのままです。電池を交換すると出荷時の設定に戻ることがあります。**

1 矢印のついている項目が現在選択されている項目です。＋/－ボタンを押して選択項目の矢印を移動させることができます。

2 選択したい項目に矢印のついている状態でOKボタンを押してください。各項目の設定画面が表示されます。

❍ 各設定画面からメニューボタンを押すと、メニューに戻ります。メニューでメニューボタンを押すと、メニューモードから抜けます。

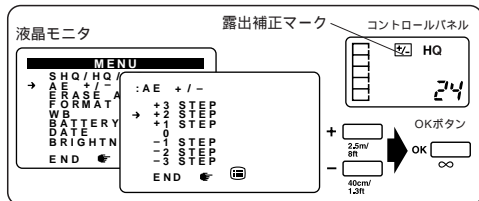
SHQ/HQ/SQ(画質モード選択)

1 メニューから「**SHQ/HQ/SQ**」を選択すると、上の図のような画質モード設定画面が表示されます。SQ（標準画質）、HQ（高画質）、SHQ（スーパー高画質）の3種類があり、現在の画質モードは赤字で示されます。

2 +/−ボタンを押して矢印を移動させ、選択したい画質モードに矢印がついた状態でOKボタンを押すと、その項目の文字が赤くなり、画質モードが設定されます。

❍ RECモード時は、コントロールパネルに画質モードと撮影可能枚数が表示されます。

☞

> ◆ **設定された画質モードによっては撮影可能枚数が0になることがあります。撮影可能枚数についてはP.20をお読みください。**

AE +/−(露出補正)

1 メニューから「**AE +/−**」を選択すると、上の図のような露出補正設定画面が表示されます。現在の露出補正値は赤字で示されます。(±3 ステップ)

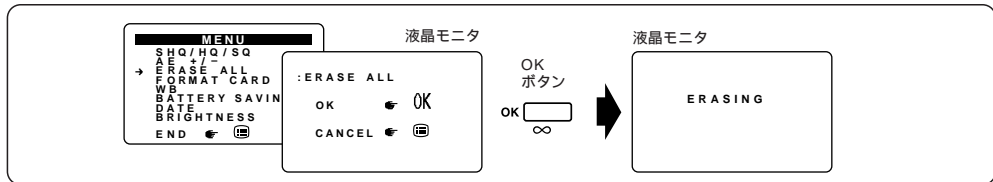
2 +/−ボタンを押して矢印を移動させ、選択したい露出補正に矢印がついた状態でOKボタンを押すと、その項目の文字が赤くなり、露出補正が設定されます。

❍ RECモード時は、0以外の設定をするとコントロールパネルに露出補正マークが表示されます。

❍ 白の多い被写体には+の、黒の多い被写体には−の補正を入れると効果的です。

❍ 外部フラッシュには適用されません。

ERASE ALL (画像の全コマ消去)

全てのコマを消去したい時に使います。

1 メニューから「**ERASE ALL**」を選択すると、上の図のような画像の全コマ消去設定画面が表示されます。

2 全コマ消去したい場合は+/−ボタンを押してOKに矢印を移動させ、OKボタンを押してください。「**ERASING**」と表示され、消去が始まります。

❍ 消去中は一切の操作を受けつけません。

❍ カードに画像がなにも記録されていない場合は、画面に「**NO PICTURE**」と表示されます。

❍ 消去後は、PLAYモード時は画面に「**NO PICTURE**」と表示され、RECモード時はメニューモードから抜けます。

⚠ 注意

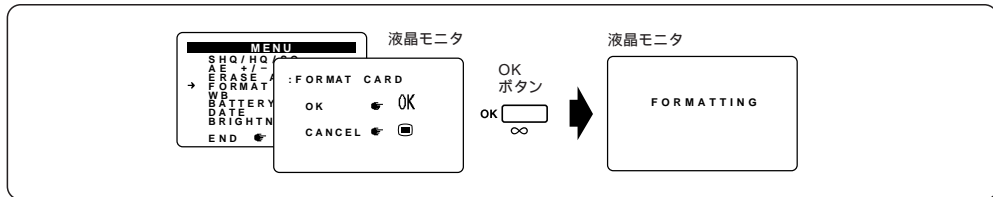
◆ 消去中にカードカバーを開けたりACアダプタ／電池やカードを抜くと、カード内のデータが破壊される恐れがありますので十分ご注意ください。

◆ カードにライトプロテクトシールが貼られている場合は、画面に「WRITE-PROTECT」と表示され、消去を受け付けません。(P. 21参照)

◆ プロテクトをかけた画像がある場合は、それ以外のコマのみが消去されます。

◆ カードの状態により、消去に時間がかかることがあります。

FORMAT CARD (カード初期化)

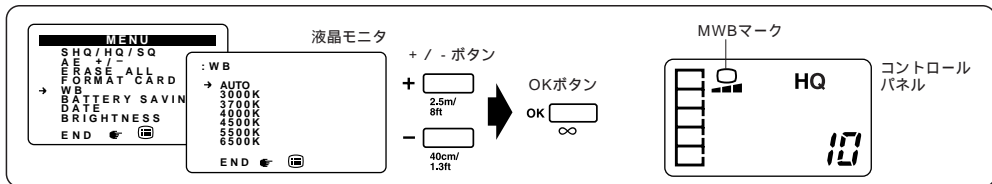
カードを本機用に初期化する時に使います。

1 メニューから「**FORMAT CARD**」を選択すると、上の図のようなカード初期化設定画面が表示されます。

2 カードを初期化したい場合は＋/－ボタンを押してOKに矢印を移動させ、OKボタンを押してください。「**FORMATTING**」という文字が表示され、初期化が始まります。初期化が終わるとメニューに戻ります。

❍ 初期化中は一切の操作を受けつけません。

- ◆ **初期化すると既存のデータは消滅します。使用済みカードを初期化する時には、大切なデータを消さない様にご確認ください。**
- ◆ **プロテクトをかけた画像も消滅します。**
- ◆ **カードにライトプロテクトシールが貼られている場合は画面に「WRITE-PROTECT」と表示され、初期化を受け付けません。****(P.21参照)**
- ◆ **最適な初期化を行うため、C-1400XLでの初期化をおすすめします。**

WB(ホワイトバランス設定)

被写体に白色が入っていない時や、特殊光源下での撮影、特殊な色効果を出す時に使います。

1 メニューから「**WB**」を選択すると、上の図のようなホワイトバランス設定画面が表示されます。オート又は各色温度から選択でき、現在の設定は赤字で示されます。

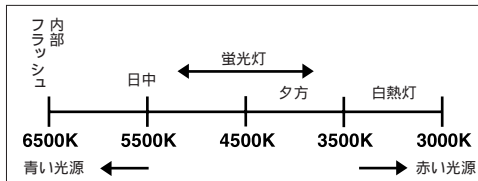
2 ＋/ーボタンを押して矢印を移動させ、選択したい項目に矢印がついた状態でOKボタンを押すと、その項目の文字が赤くなり、ホワイトバランスが設定されます。

❍ 通常はオートに設定してお使いください。

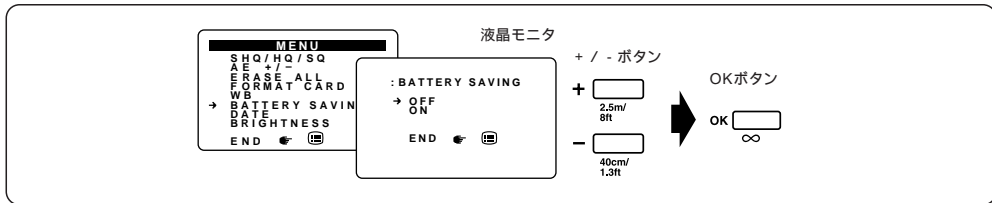
MWB(マニュアルホワイトバランス)設定

実際の色温度よりも高い温度に設定すると、赤みが強調されます。

❍ コントロールパネルにMWBマークが表示されます。

光源と色温度のめやす

◆ 色の確認は必ずPLAYモードで行ってください。

BATTERY SAVING(電池節約)

撮影時の電池寿命をのばします。

1 メニューから「**BATTERY SAVING**」を選択すると、上の図のような電池節約モード設定画面が表示されます。現在の設定は赤字で示されます。

2 +/ーボタンを押して矢印を移動させ、選択したい項目に矢印がついた状態でOKボタンを押すと、その項目の文字が赤くなり、設定されます。

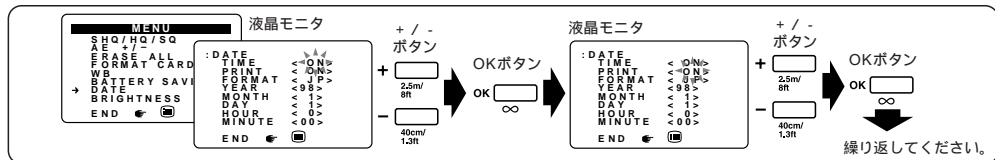
❍ OFFに設定すると、撮影後カード記録時に撮影画像が約5秒間液晶モニタに表示されます。

❍ ONに設定すると液晶モニタには表示されず、電池の消耗を抑えます。

◆ 電池節約モード(ON)では、シャッターボタンを押してからピントが固定されるまでの時間が若干長くなります。緑ランプの点灯を確認してからシャッターを押し切ってください。

◆ 電池寿命節約の程度は、撮影環境や電池の種類により変動します。(アルカリ電池をご使用の場合、効果があらわれないことがあります。)

DATE (日時設定)

撮影年月日の情報を残すことができます。

1. メニューから「**DATE**」を選択すると、上の図のような日時設定画面が表示されます。TIME(時刻表示)、PRINT(日付印刷)、FORMAT(年月日表示形式)、YEAR(年)、MONTH(月)、DAY(日)、HOUR(時)、MINUTE(分)が設定できます。
2. TIMEから順に< >内が点滅します。＋/ーボタンで< >内を設定し、OKボタンを押すと設定が確定され、次の< >内が点滅します。

❍ TIME(時刻表示)にはONとOFFの設定があり、ONにすると日付以外に時刻も表示され、OFFでは日付のみが表示されます。

❍ PRINT(日付印刷)にはONとOFFの設定があり、ONにすると再生や印刷の際に撮影した日付が入ります。時刻表示を設定している場合は時刻も入ります。OFFでは再生の際に約5秒間日付が表示され、印刷はされません。

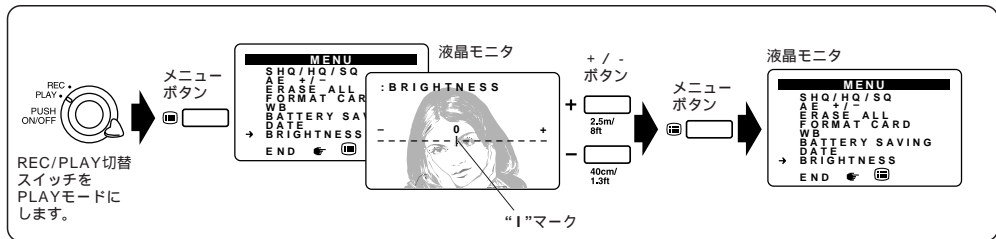
❍ FORMAT(年月日表示形式)には次のような項目が用意されています。

JP …… 年月日　98、12、31
US …… 月日年　12、31、98
EU …… 日月年　31、12、98

YEAR …… 年
MONTH …… 月
DAY …… 日
HOUR …… 時
MINUTE …… 分

- ◆ **存在しない日付を設定することはできません。**
- ◆ **パソコンから設定することもできます。設定方法についてはパソコン接続キット付属のソフトのオンラインマニュアルをお読みください。**

BRIGHTNESS (液晶画面の明るさ)

PLAYモード時のみ設定可能です。液晶画面をより見やすくします。

1 メニューから「**BRIGHTNESS**」を選択すると、上の図のような液晶モニタの明るさの目盛が表示されます。目盛のライン上の **I** マークが現在の明るさをあらわしています。

2 ＋ボタンを押すとより明るく、－ボタンを押すとより暗くなります。希望の目盛に合わせたところでメニューボタンを押すと明るさが設定され、メニューに戻ります。

印刷してみましょう

プリンタとの接続のしかた

専用プリンタP-300(別売)と接続して、ダイレクトプリントが可能です。

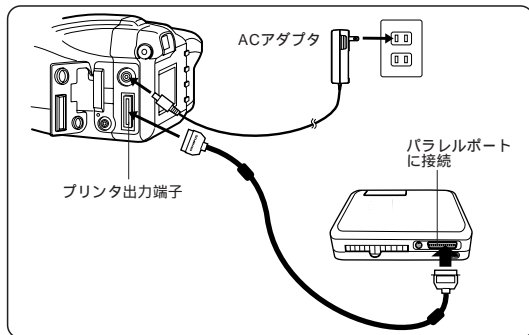
接続の前に専用プリンタ(P-300)とカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

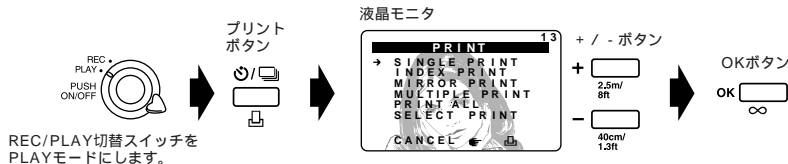
1. 専用ケーブル(P-300に同梱)をプリンタのパラレルポートに接続します。
2. カメラの端子カバーを開けます。
3. 専用ケーブルをカメラのプリンタ出力端子に接続します。コネクタの向きを確認し、正しく挿入してください。
4. **カメラにACアダプタ(別売)を接続します。**

❍ バッテリーを消耗しますので、ACアダプタのご使用をおすすめします。

5. プリンタとカメラの電源を入れます。

❍ 印刷中はセルフタイマーシグナル(P.31)が点滅し、基本的には一切の操作を受けつけません。

❍ 1枚プリント、インデックスプリント、全コマプリント、予約プリントでは日付印刷を設定していると、撮影した日付も印刷されます。時刻表示を設定していると、日付に加え撮影した時刻も印刷されます。(P.51)

- ◆ **このカメラでは印刷はすべてカメラ側で制御するので、カメラと接続している間はプリンタ側のボタン、枚数設定ダイヤルは触れても一切作動しません。(ただし、電源をOFFにすると印刷は停止します。)**
- ◆ **印刷中は液晶モニタ画面は消灯します。**
- ◆ **なにも操作をしないまま約12秒たつと、プリントモードから抜けます。**
- ◆ **印刷中にカメラに振動をあたえたり、プリンタの通風口にものをおかないでください。印刷できないことがあります。**
- ◆ **印刷中に電池、ACアダプタを抜いたり、カードカバーを開くとデータが破壊／消失しますので絶対に避けてください。**

凸 印刷メニューの基本操作

PLAYモードでカメラの電源を入れ、プリントボタンを押すと、液晶モニタに印刷メニューが表示されます。

1 矢印のついている項目が現在選択されている項目です。+/－ボタンを押して選択項目の矢印を移動させることができます。

2 選択したい項目に矢印がついている状態でOKボタンを押してください。各項目の設定画面が表示されます。

❍ 印刷メニューでプリントボタンを押すと、プリントモードから抜けます。

❍ 各設定画面でOKボタンを押すと印刷を実行し、プリントボタンを押すと、印刷せずに印刷メニューに戻ります。

☞

◆ **カードエラーで再生表示できない場合はコントロールパネルのカードエラーマーク及びエラーコードが点滅し、液晶モニタには赤で「CARD ERROR」と表示が出ます。この場合プリントボタンを押してもプリントモードには入りません。**

◆ **全コマプリントと予約プリントはACアダプタ(P.17)を接続してある場合のみ行えます。ACアダプタが接続されていない場合は、液晶モニタに「USE AC ADAPTOR」と表示されます。カメラの電源を切ってACアダプタを接続し、操作をやり直してください。**

◆ **印刷枚数の設定は、ACアダプタ接続時にのみ可能です。**

■ 印刷を中止したい場合

カメラのパワーボタン(P.12)を2秒以上押し続けると、印刷途中でも印刷を終了します。

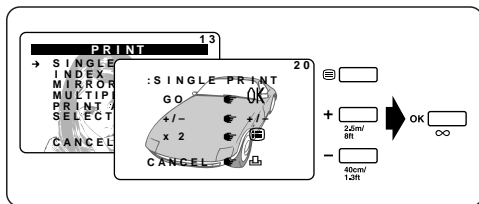
■ エラー

❍ プリンタが接続されていない場合及びプリンタの電源OFFの場合は液晶モニタに赤で「**PRINTER OFFLINE**」と表示され、OKボタンを押してもプリントは行われません。

❍ 紙詰まりやインクシート切れなど、プリンタにエラーが生じた場合は「**PRINTER ERROR**」と表示され、プリントは行われません。

❍ 印刷中にエラーが生じた場合は「**PRINTER ERROR**」と表示され、印刷は途中で停止します。エラー解決後にOKボタンを押すと再び印刷が始まります。

1枚プリント

現在液晶モニタに表示されている画像を印刷します。

1 印刷メニューから「**SINGLE PRINT**」を選択すると、上の図のような1枚印刷の設定画面が表示されます。

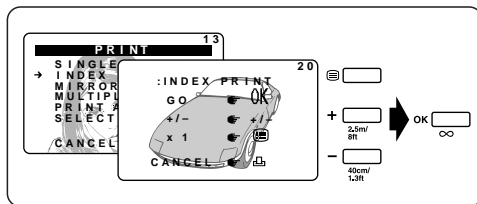
2 ＋ボタンを押すと次の画像を、－ボタンを押すと前の画像を再生表示します。

3 メニューボタンを押して、印刷枚数を設定します。

❍ ACアダプタが接続されていない時は、液晶モニタに「**USE AC ADAPTOR**」と表示され、枚数設定はできません。

4 OKボタンを押すと印刷を開始します。

インデックスプリント

**カード内の全コマを小さな画像にして
インデックス印刷します。**

1 印刷メニューから「**INDEX PRINT**」を選択すると、上の図のような設定画面が表示されます。

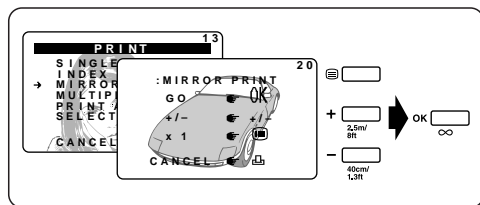
2 ＋ボタンを押すと次の画像を、－ボタンを押すと前の画像を再生表示します。

3 メニューボタンを押して、印刷枚数を設定します。

❍ ACアダプタが接続されていない時は、液晶モニタに「**USE AC ADAPTOR**」と表示され、枚数設定はできません。

4 OKボタンを押すと印刷を開始します。1枚の紙に入る最大コマ数は30コマです。

転写プリント

現在液晶モニタに表示されている画像を左右反転印刷します。アイロンプリント作成などにご利用ください。

1 印刷メニューから「**MIRROR PRINT**」を選択すると、上の図のような設定画面が表示されます。

2 ＋ボタンを押すと次の画像を、－ボタンを押すと前の画像を再生表示します。

3 メニューボタンを押して、印刷枚数を設定します。

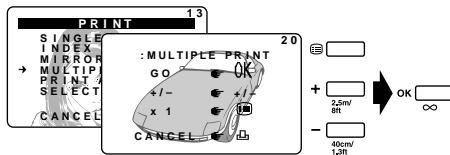
❍ ACアダプタが接続されていない時は、液晶モニタに「**USE AC ADAPTOR**」と表示され、枚数設定はできません。

4 OKボタンを押すと印刷を開始します。

❍ Tシャツプリント作成には別売の布転写シートをお使いください。

❍ 転写プリントでは日付印刷が設定されていても日付は印刷されません。

16分割シールペーパープリント

現在液晶モニタに表示されている画像を小さな画像にして、1枚の紙に4×4(16枚)収めて印刷します。16分割シールペーパーに印刷するときなどにご利用ください。

1 印刷メニューから「**MULTIPLE PRINT**」を選択すると、上の図のような設定画面が表示されます。

2 ＋ボタンを押すと次の画像を、－ボタンを押すと前の画像を再生表示します。

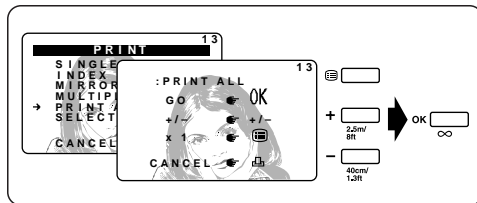
3 メニューボタンを押して、印刷枚数を設定します。

❍ ACアダプタが接続されていない時は、液晶モニタに「**USE AC ADAPTOR**」と表示され、枚数設定はできません。

4 OKボタンを押すと印刷を開始します。

❍ 16分割シールペーパープリントでは、日付印刷が設定されていても日付は印刷されません。

全コマプリント

カードに入っている全ての画像を印刷します。

1 印刷メニューから「**PRINT ALL**」を選択すると、上の図のような設定画面が表示されます。

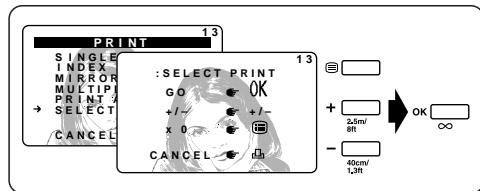
❍ ACアダプタが接続されていない時は、液晶モニタに「**USE AC ADAPTOR**」と表示され、印刷メニューに戻ります。

2 ＋ボタンを押すと次の画像を、－ボタンを押すと前の画像を再生表示します。

3 メニューボタンを押して、印刷部数を設定します。

4 OKボタンを押すと、カード内の全コマを印刷します。

予約プリント(指定画像の印刷)

選択した画像を印刷します。

1 印刷メニューから「**SELECT PRINT**」を選択すると、上の図のような設定画面が表示されます。

❍ ACアダプタが接続されていない時は、液晶モニタに「**USE AC ADAPTOR**」と表示され、印刷メニューに戻ります。

2 ＋ボタンを押すと次の画像を、－ボタンを押すと前の画像を再生表示します。

3 メニューボタンを押して、印刷枚数を設定します。

4 設定終了後OKボタンを押すと、設定画像を設定部数印刷します。

パソコンの使用環境

パソコン接続キットC-4KP使用の場合 (以下の条件で使用可能です。)

❍ **DOS/V機(IBM PC/AT互換機)**

CPU ： 486 SX 以降、33 MHz 以上
システム ： Windows 3.1/95/98/NT 4.0
ハードディスクの空き容量 ： 5MB 以上
RAM ： Windows 3.1 — 8 MB 以上
Windows 95/98 — 16 MB 以上
Windows NT 4.0 — 24 MB 以上
コネクター ： 標準RS-232Cインターフェイス
D-SUB 9ピンコネクター
モニタ ： 256色以上640×400ドット以上(Win 3.1)
256色以上640×480ドット以上、
推奨32000色以上(Win 95/98/NT 4.0)

❍ **Apple Macintosh**

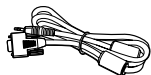
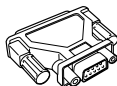
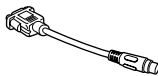
CPU ： 68030以降
システム ： 漢字Talk7.1～7.5.5、Mac OS7.6～8.1
ハードディスクの空き容量 ： 5MB 以上
RAM ： 8MB 以上(Power Macは16MB 以上)
コネクター ： シリアルポート
ミニDin 8ピンコネクター
モニタ ： 256色以上 640×480ドット以上
推奨32000色以上

❍ **NEC PC-9821シリーズ**

システム ： Windows 3.1/95/98/NT 4.0
ハードディスクの空き容量
： Windows 3.1 — 2 MB 以上
(インストールのみ)
Windows 95/98/NT 4.0 — 5 MB 以上
RAM ： Windows 3.1 — 8 MB 以上
Windows 95/98 — 16 MB 以上
Windows NT 4.0 — 24 MB 以上
コネクター ： 標準RS-232Cインターフェイス
(19200 bps以上の通信速度が必要)
D-SUB-25ピンコネクター
モニタ ： 256色以上640×400ドット以上(Win 3.1)
256色以上640×480ドット以上、
推奨32000色以上(Win 95/98/NT 4.0)

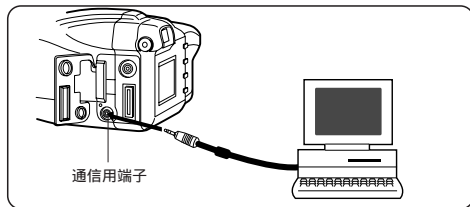
パソコンとの接続のしかた

ご使用のパソコン機種によって、接続方法が異なります。

❍ DOS/V機(IBM PC/AT互換機)
パソコン側の“ COM1、COM2 ”等と書かれたシリアルポートに、DOS／V用パソコン接続ケーブルをそのまま接続します。

❍ NEC PC-9821シリーズ
パソコン側の“ RS-232C ”と書かれたシリアルポートに98用変換コネクターを接続し、さらにDOS／V用パソコン接続ケーブルを接続します。(PC-98ノートパソコンには別のコネクターが必要です。)

❍ Apple Macintosh
パソコン側のプリンタポートもしくはモデムポートにMAC用変換コネクターを接続し、さらにDOS／V用パソコン接続ケーブルを接続します。

注)
- 上記ケーブルもしくは、コネクターはパソコン接続キット(別売)に同梱されています。
- Macintosh用変換アダプタは、デジタルカメラとMacintoshの接続専用です。Macintoshとプリンタの接続には使えません。
- 電池の消費を防ぐため、ACアダプタ(別売)の使用をお勧めします。

DOS/V用
パソコン接続ケーブル

98用変換コネクター

MAC用変換コネクター

あらかじめパソコンに、接続キットに添付されているユーティリティソフトウエアを、取扱説明書に従ってインストールしておいてください。
接続の前にパソコンとカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

1. 左記のそれぞれの接続方法に従って、パソコン接続ケーブルをパソコンのシリアルポートに接続します。
2. カメラのコネクタカバーを開けます。
3. パソコン接続ケーブルのプラグをカメラの通信用端子に最後まで押し込みます。
4. パソコンの電源を入れ、パソコンのユーティリティを起動します。
5. カメラの電源を入れてください。

ユーティリティソフトウエアの主な機能

別売のパソコン接続キットC-4KPに添付されているユーティリティソフトウェアを前ページのパソコンにインストールすると、撮影した画像をシリアルケーブルでパソコンにダウンロードし、表示、加工、保存、その他いろいろな機能を楽しめます。

上記のユーティリティソフトウェアには以下の5つの機能があります。インストール方法や操作手順については、ソフトウェアのオンラインマニュアルをご参照ください。

■ カメラとの通信

シリアルポートを介し、パソコン側からコマンドを送信することにより、カメラ内画像ファイル、インデックス画像のダウンロードを行います。また、パソコン側からのカメラのコントロール(撮影、データ消去、画質モード、日付時刻の設定およびその表示方法の設定、その他設定変更等)もサポートしています。

■ 画像ビューワー

カメラからダウンロードした画像、インデックス画像、ディスク上の画像ファイルを表示します。

■ フォーマット変換

JPEG(JFIFーカメラデータ)、J6I(VCシリーズ)、BMP(Windows版のみ)、PICT(Macintosh版のみ)、TIFF(Adobe Photoshopで取り扱い可能)のファイル間で相互にフォーマット変換が可能です。

■ 小加工

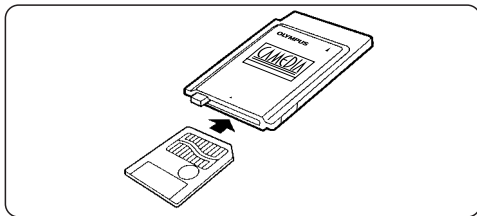
回転(右へ90°、左へ90°、180°)、色数変更(1670万色、256システムカラー、256カスタムカラー、256グレイスケール、白黒)、色調補正(曇り、朝夕、蛍光灯)が可能です。

■ 印刷

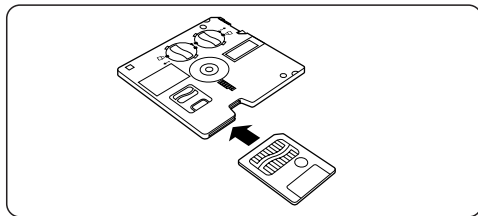
1コマ印刷の他に、インデックス印刷、A4レイアウト印刷(4ショットを自動レイアウト)が可能です。

◆ ソフトウェア使用の際、ソフトの種類によって機能が若干異なります。詳しくはソフトウェアのオンラインマニュアルをご参照ください。

スマートメディアから直接とりこむ場合

PCカードアダプタ

別売のPCカードアダプタ(MA-2)をご使用になると、スマートメディアからPCカードスロットまたは外付PCカードドライブを備えたパソコンに直接画像データをとりこむことが可能です。

❍ ノートパソコンの場合 Windows NTは動作保証しません。

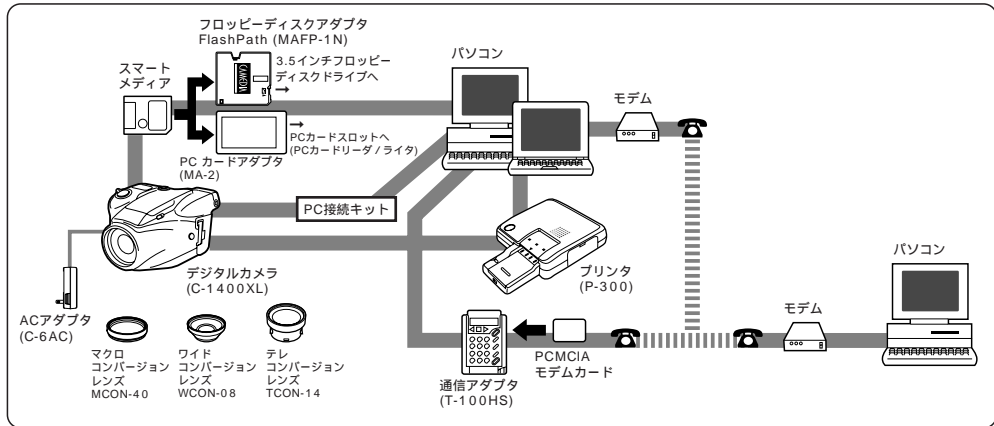
フロッピーディスクアダプタFlashPath

別売のフロッピーディスクアダプタFlashPath(MAFP-1N)をご使用になると、スマートメディアから3.5インチフロッピーディスクドライブを備えたパソコンに直接画像データをとりこむことが可能です。

☞

◆パソコンの動作環境により、ご使用になれない場合があります。
◆ライトプロテクト（書き込み禁止）シールの貼ってあるカードをパソコンで使用するとエラーが発生することがありますので、ご使用にならないでください。（詳しくは両アダプタの取扱説明書をお読みください。）

システムチャート

別売の機器とシステムを組むと、以下のことが可能です。

❍ 専用プリンタと組み合わせて、撮影画像をダイレクトプリント
❍ 通信アダプタを介してデータの伝送、PCMCIAカードへのデータ保存

Q & A

Q 電池はどの位もちますか。

A 電池寿命は電池の種類、メーカー、カメラの使用条件等により大きく異なります。同梱のニッケル水素電池（B-02）を完全に充電した後では下表のようになりますが、この値はあくまで参考値であり保証値ではありません。

同梱ニッケル水素電池（B-02）の電池寿命

	条件	電池節約モード	
		OFF	ON
撮影枚数	①	約75枚	約150枚
再生時間	②	約60分	約60分

使用条件

① 2枚連続撮影～10分放置～2枚連続撮影～10分放置の繰り返し。(常温(25℃)、フラッシュ発光50%、各撮影につきズーム1往復、PLAYモードの再生、印刷、PCとの通信無し。)

② 自動再生モードによる連続再生、オートパワーオフ直後にパワーオンして、再度自動再生の繰り返し。

※ PCとの通信時およびダイレクトプリント時は、ACアダプタ(C-6AC)のご使用をおすすめします。

※ 電池節約モードでは撮影枚数が向上しますが、以下の条件では撮影をしなくても電力を消費しており、撮影可能枚数が減少することがあります。

- RECモードでシャッターボタンの半押しをして、AF動作を繰り返す。
- ズーム動作を繰り返す。
- PLAYモードで長時間液晶モニタを点灯する。
- PCとの通信時およびダイレクトプリント時。

Q 電池の残量表示がモードによって違うのですが。

A RECモードとPLAYモードでは電池残量の検出方法が異なるためです。PLAYモードで使えた電池でもRECモードでは撮影できないことがあります。

Q 画像データに記録される日付が正しくないのですが。

A 出荷時に日付調整がなされていませんので、同梱のリチウムコイン電池を装着した後、日付の設定をしてください。また、単3電池とコイン電池を同時に交換すると、日付がリセットされてしまうのでご注意ください。

Q 液晶モニタが汚れてしまったのですが。

A 液晶モニタが汚れた時は、クリーニングペーパーで軽くふくようにしてください。

Q カードカバーを開けたら使用中のモードが解除されてしまったのですが。

A 電源が入ったままカードカバーを開けると電源が自動的に切れますので、解除されるモードがあります。

Q フラッシュを使用し、人物撮影をしたら目が赤く写ってしまったのですが。

A どのカメラでもフラッシュを用いた人物撮影では目が赤く写ることがあります。これは網膜がフラッシュの光を反射するために起こる現象ですが、個人差が大きく、また周囲の明暗等の撮影条件によっても異なります。一般的には東洋人は出にくく、西洋人は出やすい傾向にあります。赤目軽減発光モードを使用することにより、発生頻度を大幅に軽減します。

Q フードは取り付けられますか。

A 別売のステップアップリングを使って市販の55mmフードが取り付けられます。市販の43mmフードでは画面がケラれることがあります。

Q カメラの保管はどうすれば良いのですか。

A カメラはホコリ、湿気、塩分を嫌います。よくふいて乾燥させて、保管してください。海辺で使ったあとは、真水で浸した布を硬く絞ってふき取ると良いでしょう。防虫剤の使用は避けてください。長期保管の場合は電池を抜いてください。

Q 外部フラッシュは取り付けられますか？

A 取り付けられます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。(http://www.olympus.co.jp)

修理に出す前にお確かめください

操作上のトラブル

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない。	① OFF状態になっている。 ② 電池の向きが正しくない。 ③ 電池がない。 ④ 寒さで電池の性能が一時的に低下した。 ⑤ カードカバーが開いている。	❶ パワーボタンを押して電源をONにしてください。 ❷ 電池を正しく入れ直してください。 ❸ 新しい電池を入れてください。 ❹ 電池をポケット等で温めてから使用してください。 ❺ カードカバーを確実に閉めてください。	P.18 P.16 P.16 P. 6 P.18
シャッターボタンを押しても撮影ができない。	① カードの容量がいっぱいになった。 ② 撮影中やカードへの書き込み中に電池がなくなった。 ③ 電池残量が少なくなった。 ④ オートフォーカス範囲外、または苦手な被写体である。 ⑤ メモリゲージが一杯になった。 ⑥ 内部フラッシュが充電中である。 ⑦ カードにライトプロテクトシールが貼られている、またはカメラにカードが入っていない。	❶ カードの交換を行うか、不用なコマの消去を行うか、画像をパソコンなどに転送し全コマ消去を行ってください。 ❷ 電池を新品と交換してください。 ❸ 電池を交換してください。(カード記録中の場合、完了するまでお待ちください。) ❹ 被写体距離を確認して、マクロモード／通常モードを切り換えてください。または、オートフォーカスが苦手な被写体を参照してください。 ❺ 1コマ目のカードへの記録が終わってメモリゲージにあきが出るまでお待ちください。 ❻ オレンジランプの点滅が消灯に変わるまでお待ちください。 ❼ 新しいカードをいれてください。	P.44 P.47 P.16 P.16 P.29 P.26 P.24 P.34 P.18

こんなときには…	原因	こうしましょう	参　照 ページ
液晶モニタ上で 再生ができない。	① 電源が入っていない。 またはPLAYモードになっていない。 ② カードに何も記録されていない。	❶ REC/PLAY切替スイッチをPLAYにセットして、 パワーボタンを押してください。 ❷ コントロールパネルをチェックしてください。	P.40 P.21
内部フラッシュが 発光しない。	① フラッシュが出ていない。 ② 明るい被写体である。 ③ フラッシュを上げた状態でコントロールパネルの ⚡ マークが点灯している場合はフラッシュの故障です。	❶ フラッシュポップアップレバーを押して、 フラッシュを上げてください。 ❷ フラッシュを強制的に発光させたい場合は、 強制発光モードを選択してください。 ❸ 修理に出してください。	P.34 P.38
液晶モニタが 見にくい。	① 輝度の設定がおかしい。 ② 太陽光の下である。	❶ PLAYモード時にメニューからBRIGHTNESSを選び、 調節してください。 ❷ 太陽の光を手等でさえぎって見てください。	P.52
パソコンとつないだとき、データ転送中にエラーメッセージが出る。	① ケーブルが正しく接続されていない。 ② カメラの電源がOFFになっている。 ③ 電池がない。 ④ パソコンのシリアルポートが正しく設定されていない。 ⑤ 画像転送速度が正しく設定されていない。 ⑥ TWAIN/Plug-Inがインストールされていない。	❶ 正しく接続されていることを確認してください。 ❷ カメラの電源をONにしてください。 ❸ 新しい電池を入れるか、ACアダプタ(別売)を お使いください。 ❹ パソコンでシリアルポートが正しく設定されている ことを確認してください。 ❺ パソコンで転送速度が正しく設定されている ことを確認してください。 ❻ パソコンにTWAIN/Plug-Inを正しくインストール してください。	P.60 P.18 P.16 P.17

＊ どのボタンを押してもカメラが作動しない場合は、カードカバー内のリセットボタンをボールペンなどの先で押してから、パワーボタンを押してください。(P.18)

画像の出来が良くない場合

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
ピントの合っていない写真ができた。	① シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった。(カメラぶれ)	❶ カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押してください。	P.22 P.23
	② ピントを合わせたいものが、オートフォーカスマークからずれてしまった。	❷ ピントを合わせたいものを画面中央に持ってくるか、フォーカスロック撮影を行ってください。	P.27
	③ レンズが汚れていた。	❸ レンズをきれいにしてください。	
	④ RECモードが違っていた。	❹ 0.3〜0.6mに被写体がある場合はマクロモードを使い、それ以上の場合は通常モードで撮影してください。	P.29
	⑤ セルフタイマー撮影で、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した。	❺ カメラの前に立たず、ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを押してください。	
	⑥ ワンタッチフォーカスで被写体距離を確認せずに撮影してしまった。	❻ ワンタッチフォーカスの合焦距離範囲で撮影してください。	P.28

こんなときには…	原因	こうしましょう	参 照 ページ
できあがった画像が暗い。	① フラッシュを使っていなかった。	❶ フラッシュポップアップレバーを押して、フラッシュを上げてください。	P.34
	② フラッシュを指などで覆ってしまった。	❷ カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気を付けてください。	P.22
	③ 撮りたいものがフラッシュ撮影範囲よりも遠くにあった。	❸ フラッシュ撮影可能範囲内で撮影するか外部フラッシュを使用してください。	P.34 P.36
	④ 逆光状態で小さい被写体を撮影した。	❹ フラッシュのモードを強制発光モードにセットするか、スポット測光モードにして撮影してください。	P.38 P.30
	⑤ 強制発光＋外部発光モードで、外部フラッシュの電源が入っていなかったか接続されていなかった。	❺ 接続して電源を入れてください。	P.36
できあがった画像が明るすぎる。	① フラッシュモードが強制発光になっていた。	❶ 強制発光以外のフラッシュモードを選んでください。	P.35
	② 高輝度の被写体に向かって撮影した。	❷ 露出補正をするか、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。	P.46
写真の色がおかしい。	① 照明の色が影響した。	❶ フラッシュのモードを強制発光にセットして撮影してください。	P.38
	② 被写体に白い部分がなかった。	❷ 画角に白い被写体を入れて撮影するか、WBで色温度を選択してください。	P.49
	③ WBで色温度の設定を間違えた。	❸ 色温度を設定し直してください。	P.49
画像の一部が欠けてしまった。	① レンズに指やストラップがかかってしまった。	❶ カメラを正しく構え、レンズに指やストラップをかけないように気を付けてください。	P.22

アフターサービスについて

■ 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上大切に保管してください。

■ 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または裏表紙の当社サービスステーションにご相談ください。使用説明書等にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満一ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

■ 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。また運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

■ 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間を目安に当社では保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店また、お近くの当社サービスステーションにお問い合わせください。

■ 本製品の保証、修理、サービスは日本国内でのみ有効です。

■ 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。

液晶画面とバックライトについて

■ 液晶モニタに使用されている液晶画面のバックライトの蛍光管及びコントロールパネルには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらつき始めたら、当社サービスステーションにお問い合わせください。（修理は有料となります。）

■ 一般に低温になるにしたがってバックライトは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したバックライトは、常温に戻ると回復します。

■ 一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、特性上明るさにむらが生じることがありますが、故障ではありません。

画像ファイルの互換性について

C-1400XLで撮影した画像を他のオリンパスデジタルカメラで再生する場合及び他のオリンパスデジタルカメラで撮影した画像をC-1400XLで再生する場合は、以下のような制限がありますのでご注意ください。
※ C-1400XLから専用プリンタP-300で通常サイズのダイレクトプリントをした場合、C-840L/C-820L/C-420Lで撮影した画像はC-1400XL/C-1400L/C-1000Lで撮影した画像よりも画素数が少なくなります。また、C-1400XL/C-1400Lで撮影した画像を16分割シールペーパープリントで印刷した場合、画像の上下ラインがカットされます。

撮影＼再生		C-1400XL	C-1400L C-1000L	C-840L	C-820L	C-420L
C-1400XL	SHQ/HQ	○	○	X 注1	X 注1	X 注1
	SQ	○	○	X 注1	X 注1	X 注1
C-1400L C-1000L	SHQ/HQ	○	○	X 注1	X 注1	X 注1
	SQ	○	○	X 注1	X 注1	X 注1
C-840L	高画質	○	X	○	X 注1	X 注1
	標準画質	○	X	○	X 注1	X 注1
C-820L	高画質	○	○	○	○	X 注1
	標準画質	○	○	○	○	X 注1
C-420L	高画質	○	○	○	○	○
	標準画質	○	○	○	○	○

注1：縮小された再生画像が液晶モニタに表示されます。　　○＝再生可　X＝再生不可

主な仕様

形式	：デジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式	：デジタル記録
記録媒体	：3.3V スマートメディア 2MB、4MB、8MB、16MB
記録コマ数	：24枚以上 (HQ/8MBカード)
消去	：１コマ消去、全コマ消去
撮像素子	：2/3インチ原色フィルタ 141万画素(総画素数)
記録画素数	：1280 X 1024 ピクセル (SHQ/HQモード) 640 X 512 ピクセル (SQモード)
ホワイトバランス	：フルオートTTL／マニュアル6段階
レンズ	：オリンパスレンズ 9.2～28mm、F2.8～3.9、7群7枚 (35mmフィルム換算 36～110mm相当)
測光方式	：撮像素子によるTTL中央重点測光方式、 スポット測光
露出制御方式	：プログラム自動露出
絞り	：**W**：F2.8、F5.6 **T**：F3.9、F7.8
シャッター	：1/4～1/10000秒
露出補正	：±3 ステップ

撮影範囲(レンズ前面から)

通常モード	： 0.6m～∞
マクロモード	： 0.3m～0.6m
∞ワンタッチフォーカス	： 約2.0m～∞ (WIDE) 約7.5m～∞ (TELE)
2.5mワンタッチフォーカス	： 約1.2m～∞ (WIDE) 約2.1m～3.0m (TELE)
40cmワンタッチフォーカス	： 約34cm～66cm (WIDE) 約37cm～43cm (TELE)

ファインダー	：TTL一眼レフレックス (オートフォーカスマーク)、 視野率95%
液晶モニタ	：1.8インチTFTカラー液晶
モニタ画素数	：約61,000画素
オンスクリーン表示	：日付時刻、コマナンバー、 消去方法の指示、メニュー、エラー、 印刷指示、プロテクト

フラッシュ充電時間：約7秒(常温時、新品電池使用)
フラッシュ撮影範囲(レンズ前面から)
：WIDE 0.3m～3.6m
TELE 0.3m～2.5m
フラッシュモード：オート発光(低輝度時自動発光、逆光時自動発光)、赤目軽減発光、強制発光、強制発光＋外部発光、発光禁止、外部発光
コントロールパネル：画質モード、撮影可能枚数、カードエラー、フラッシュモード、セルフタイマー、電池残量、マクロモード、露出補正、スポットマーク、MWB、連写、メモリゲージ、外部フラッシュ
オートフォーカス：TTL方式AF
検出方式：コントラスト検出方式／焦点調節範囲：0.3m～∞(レンズ前面から)
セルフタイマー：作動時間12秒
外部コネクター：DC入力端子、データ入出力端子(RS-232C)、プリンタ出力端子、外部フラッシュシンクロ端子
日付・時刻：画像データに同時記録
自動カレンダー機能：2017年まで自動修正
カレンダー用電源：3Vリチウムコイン電池(CR2025) x 1

ダイレクトプリントモード
(専用プリンタによりダイレクトプリントが可能)
：1枚プリント、インデックスプリント、転写プリント、16分割シールペーパープリント、全コマプリント、予約プリント

使用環境
温度：0～40℃ (動作時)／－20～60℃ (保存時)
湿度：30～90% (動作時)／10～90% (保存時)
電源：単3ニッケル水素電池、ニッカド電池またはアルカリ電池4本。(単3マンガン電池、リチウム電池は使用できません。)
大きさ：幅115mm×高さ83mm×長さ130mm(突起部含まず)
質量：470g(カード／電池別)

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

OLYMPUS®

オリンパス光学工業株式会社

〒163-8610 東京都新宿区西新宿1の22の2 新宿サンエービル

カスタマーサポートセンター (製品に関するお問い合わせ)

Tel. 0426 (42) 7499　　Fax. 0426 (42) 7486

営業時間　10：00 〜 12：00

13：00 〜 17：00（土・日・祝日及び弊社定休日を除く）

※オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp でデジタルカメラ及び関連製品の技術提供をしております。

国内サービスステーション（修理受付窓口）

※土・日曜、祝日および年末年始は原則として休みます。オリンパスプラザは土曜も営業しております。

東　京　〒101-0052　千代田区神田小川町1の3の1 小川町三井ビル
(オリンパスプラザ内)....Tel. 03(3292)1931

札　幌　〒060-0003　札幌市中央区北3条西4丁目
日本生命札幌ビル ....Tel. 011(231)2320

(1998年11月から)

札　幌　〒060-0034　札幌市中央区北4条東1丁目 2の3
札幌フコク生命ビル ....Tel. 011(231)2320

仙　台　〒980-0811　仙台市青葉区一番町1の3の1
日本生命仙台ビル ....Tel. 022(225)6821

新　潟　〒950-0087　新潟市東大通り2の4の10
日本生命新潟ビル ....Tel. 025(245)7337

松　本　〒390-0815　松本市深志1の2の11
松本昭和ビル................Tel. 0263(36)5331

名古屋　〒460-0003　名古屋市中区錦2の19の25
日本生命広小路ビル ....Tel. 052(201)9571

金　沢　〒920-0961　金沢市香林坊1の2の24
千代田生命金沢ビル ....Tel. 076(262)8257

大　阪　〒542-0081　大阪市中央区南船場2の12の26
オリンパス大阪センターTel. 06(252)6991

高　松　〒760-0007　高松市中央町11の11
高松大林ビル................Tel. 087(834)6166

広　島　〒730-0013　広島市中区八丁堀16の11
日本生命広島第2ビル..Tel. 082(228)3821

福　岡　〒810-0001　福岡市中央区天神1の14の1
日本生命福岡ビル ....Tel. 092(761)4466

鹿児島　〒892-0846　鹿児島市加治屋町12の7
日本生命加治屋町ビル ....Tel. 099(225)1105

沖　縄　〒900-0015　那覇市久茂地3の1の1
日本生命那覇ビル ....Tel. 098(864)5396

VT0235